

SUMCO株主通信

第24期 中間期 2022年1月1日 ▶ 2022年6月30日



INDEX

- 01 ごあいさつ
連結業績 ハイライト
- 03 特集：SUMCOはカーボンニュートラル社会の
実現に貢献します
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ

SUMCO VISION

- 1 技術で世界一の会社
- 2 景気下降局面でも
赤字にならない会社
- 3 従業員が活き活きとした
利益マインドの高い会社
- 4 海外市場に強い会社



代表取締役 会長兼CEO
橋本 眞幸

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当年度第2四半期連結会計期間における300mm半導体用シリコンウェーハ市場は、データセンター向け需要の拡大や、車載向け需要の伸びにより、ロジック・メモリー向けともに供給能力を大幅に上回る需要が継続しました。

また、200mm以下の小口径ウェーハ市場につきましても、車載・産業向け需要が強く、需給の逼迫が続きました。

このような環境のもと、当社グループでは「SUMCOビジョン」の実現に向け、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により先端製品の高シェアを維持するとともに、AIを活用して生産性向上を図り、コスト競争力を強化することで、損益改善にも努めてまいりました。

当年度第3四半期連結会計期間における300mm半導体用シリコンウェーハ市場は、最終製品のパソコン・スマホの市場は調整局面にありますが、データセンターや車載向け市場は堅調で強い需要が続いており、原材料のシリコンウェーハは、供給能力が限られていることから、依然需要が供給を上回っております。

当社が特に注力している300mm最先端ロジック用エピタキシャルウェーハは、需要に供給が追いつかない状況が長期に継続すると見えています。また、200mmウェーハ市場も車載向けを中心に強い需要が継続すると予想しております。一方、150mm以下の小口径ウェーハ品は、今までのような需要に供給が追い付かない状況は緩和されると見えています。

このような市場環境のもと、当社グループでは、昨年決定した新たな建屋・ユーティリティ設備および製造設備にかかる設備投資、引き続き強い需要増が見込まれる最先端品の技術開発推進による製品の差別化、さらにAIの活用による生産性改善、等の確実な実行により、顧客要求に応えていく所存です。

また、COVID-19の再拡大、ロシアのウクライナ侵攻等の地政学的リスク、さらにインフレ抑制のための各国の金融引き締め等の、世界経済への影響を慎重に注視してまいります。

以上に基づき、2022年12月期の中間配当につきましては、当期における利益水準、将来の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり36円、連結配当性向は40.2%といたします。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸

株主の皆様には平素より当社へのご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

当上半期の半導体用シリコンウェーハ市場は、新型コロナ変異種の感染拡大・地政学的リスクの高まりによる流通やサプライチェーンの混乱等があったものの、半導体業界全体では好調を維持したこともあり、300mmロジック向けウェーハを中心に供給能力を上回る需要に支えられました。加えて長期契約によるウェーハ価格の改善や為替円安もあり、増産に伴うコストアップがあったものの、前年同期と比べて当上半期の売上高は497億円増加し2,074億円となりました。営業利益は280億円の増益の497億円、親会社株主に帰属する純利益は150億円増加し313億円となりました。

財務体質につきましては、自己資本比率60.0%、現預金残高は2,786億円、借入金1,410億円、ネット現預金1,376億円となり、グロスD/Eレシオは前年同期と比べて0.02改善した0.28、ネットD/Eレシオはマイナス0.27となり、現預金を積み上げて今後のグリーンフィールド投資による事業成長を支える財務体質を構築できました。

これからも最先端半導体デバイスの需要に対する顧客の要求に応えるべく、最先端高精度シリコンウェーハの技術開発と設備投資による増産体制構築を進めるとともに今後インフレによるコストアップが予想される中、製造面での歩留改善、原単位低減、生産性向上等のコストダウンを継続して推進し、収益の改善に努めてまいります。

また、カーボンニュートラルをはじめとしたサステナビリティ推進活動についても継続的に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後も引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 副会長 CFO 瀧井 道治

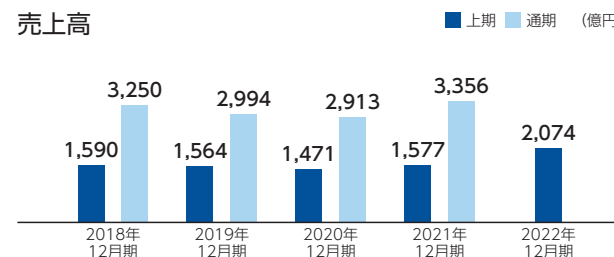


代表取締役 副会長 CFO
瀧井 道治

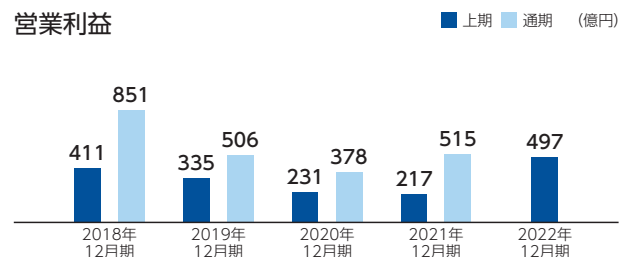
連結業績 ハイライト

(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

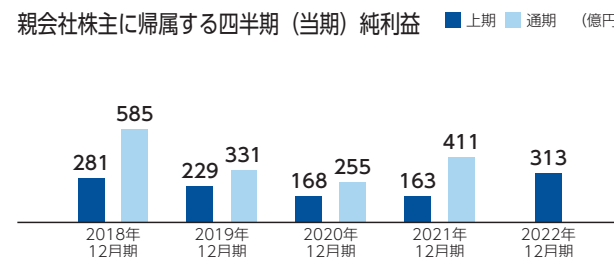
売上高



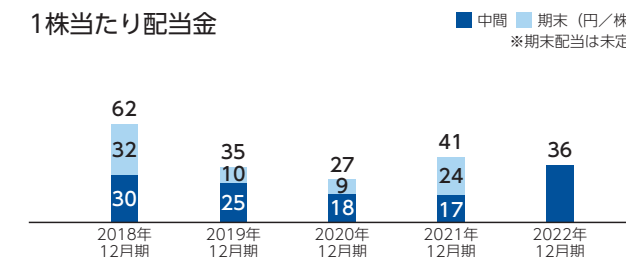
営業利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



1株当たり配当金



SUMCOはカーボンニュートラル社会の実現に貢献します

半導体用シリコンウェーハによる貢献

- 地球温暖化防止に向けたCO₂排出量削減は、世界共通の最優先課題であり、主要国はカーボンニュートラル(排出量から植林等による吸収量を差し引いて、実質ゼロにする)の時期を宣言して、削減に取り組んでいます。
- 世界全体のCO₂排出量の内訳は、発電、産業、輸送で約85%を占めています(図1)。CO₂排出量削減に向けた省電力化、エネルギー問題の解決に半導体とその原料である半導体シリコンウェーハは不可欠であり、カーボンニュートラル社会は、半導体用シリコンウェーハの安定供給が無ければ実現しません。

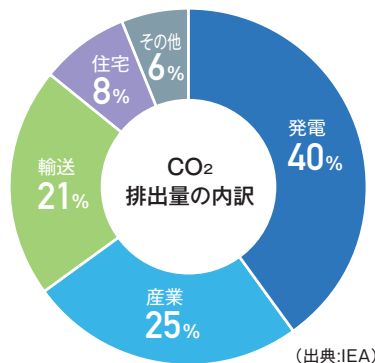


図1. 2020年の世界のCO₂排出量内訳 (出典:IEA)

EV(電気自動車)・HEV(ハイブリッド)の普及

- ICE(内燃車)のエンジン駆動からEV・HEVのモーター駆動への移行という、100年に一度の技術革新が起きています。電力を効率的に使用するためにパワー半導体(IGBT)が重要な役割を担います。
- SUMCOはお客様の開発段階からプロジェクトに参画することで、高い信頼性と耐久を持つIGBT用シリコンウェーハを開発し、安定供給しています。

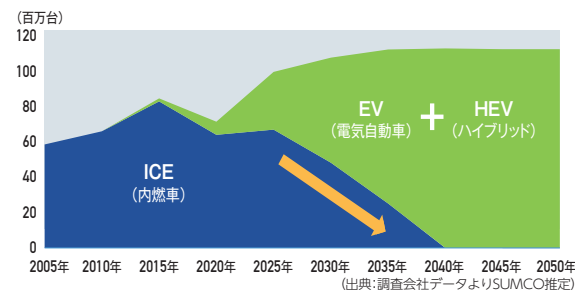


図2. EV・HEVの販売台数シナリオ (出典:調査会社データよりSUMCO推定)

パワー半導体用シリコンウェーハ

- カーボンニュートラルの実現に向けて、パワー半導体の需要は拡大します。太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギーの伸展にもパワー半導体は、欠かせないものになっています。
- SUMCOはパワー半導体用シリコンウェーハで業界トップクラスの供給能力を有しております。先端分野での結晶開発および300mm大口径化のトップランナーとして、パワー半導体の技術革新に貢献してまいります。



SUMCOのCO₂排出量削減への取り組み

- SUMCOのCO₂排出量の9割以上は電力使用によるものです。生産の合理化、効率化、省エネ設備導入等による、電力使用量の削減活動で、製品1枚当たりのCO₂排出量の低減に取り組んで来ました(図3)。
- シリコンウェーハは成長産業です。事業拡大に伴い、CO₂総排出量が増加しますが、当社は将来の事業成長を確保しつつ、CO₂総排出量を削減する「カーボンニュートラル目標」(表1)を実現することで、地球温暖化防止に貢献してまいります。

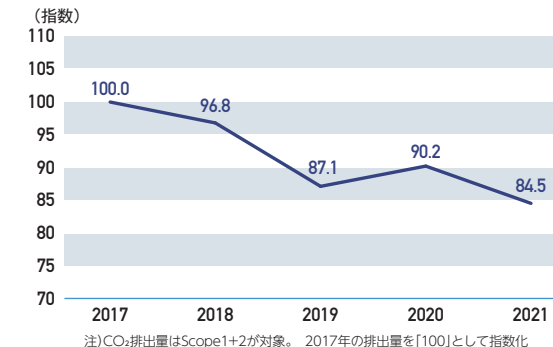


図3. 製品1枚当たりのCO₂排出量 (注)CO₂排出量はScope1+2が対象。2017年の排出量を「100」として指数化

表1. SUMCOのカーボンニュートラル目標

(注)対象はScope1+2

目標年	2030年(中期目標)	2050年(長期目標)
目標	2014年比33%減(年2.5%減) [SBT(※1)の2℃シナリオに準拠]	100%減(カーボンニュートラル) [日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言に準拠]
施策(案)	継続的な省エネ活動 再生可能エネルギーの更なる導入(太陽光発電 等) 非化石電力導入(Jクレジット、非化石証書) 等	
電力使用量削減の取り組み事例	クリーンルームの温湿度調整用の熱源設備電力量を、省エネ投資により6割削減	

(※1) Science Based Targets パリ協定が求める水準と整合した企業が設定する温室効果ガス排出削減目標

SDGsの達成にも貢献

- 地球温暖化防止は、SDGsの2030年までに実現すべき17のゴールにもなっています。
- SUMCOは、エネルギー問題の解決に必要な半導体用シリコンウェーハの安定供給およびカーボンニュートラルへの取り組み(省エネ活動等)で、サステナブル社会の達成に貢献してまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

市場環境と業績見通し

2022年度上期
(1-6月)
市場環境

2022年度上期における300mm半導体用シリコンウェーハ市場は、データセンター向け需要の拡大や、車載向け需要の伸びにより、ロジック・メモリー向けとともに供給能力を大幅に上回る需要が継続しました。また、200mm以下の小口径ウェーハ市場につきましても、車載・産業向け需要が強く、需給の逼迫が続きました。

2022年度上期
(1-6月)
事業成績

このような環境のもと、当社グループでは「SUMCOビジョン」の実現に向け、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により先端製品の高シェアを維持するとともに、AIを活用して生産性向上を図り、コスト競争力を強化することで、損益改善にも努めてまいりました。この結果、2022年度上期における当社グループの業績は、売上高2,074億円、営業利益497億円、経常利益509億円、親会社株主に帰属する当期純利益313億円となりました。

今後の見通し
2022年度3Q
累計(1-9月)

2022年度3Q(7-9月)における300mm半導体用シリコンウェーハ市場は、最終製品のパソコン・スマホの市場は調整局面にあります。データセンターや車載向け市場は堅調で強い需要が続いており、原材料のシリコンウェーハは供給能力が限られていることから依然需要が供給を上回っております。当社が特に注力している300mm最先端ロジック用エピタキシャルウェーハは、需要に供給が追いつかない状況が長期に継続すると見えています。また、200mmウェーハ市場も車載向けを中心に強い需要が継続すると予想しています。このような市場環境のもと、2022年度3Q累計の業績見通しについては、下表1.の通り予想しております。

図表1.営業利益増減分析(2021年度上期→2022年度上期)

(単位:億円)			
	2021年度上期	2022年度上期	増減
売上高	1,577	2,074	+ 497
営業利益	217	497	+ 280
為替レート (円/US\$)	107.4	121.0	+ 13.6

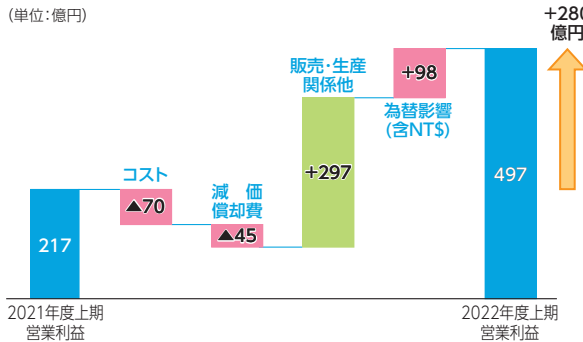


表1.2022年度3Q累計(1-9月)連結業績予想

項 目		2021年度3Q累計 実績(1-9月)	2022年度3Q累計 予想(1-9月)	増減
売上高	(億円)	2,444	3,224	+780
営業利益	(億円)	365	772	+407
経常利益	(億円)	351	779	+428
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円)	269	478	+209
1株当たり四半期純利益	(円)	92.9	136.5	+43.6
為替レート	(円／US\$)	108.3	125.6	+17.3

注)業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

会社情報

会社概要(2022年6月末現在)

商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	199,034百万円
従業員数	連結8,821名 単体4,421名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役(2022年6月末現在)

代表取締役 会長兼CEO	橋 本 眞 幸
代表取締役 副会長	瀧 井 道 治
代表取締役 社長	阿 波 俊 弘
代表取締役 副社長	龍 田 次 郎
取締役	加 藤 茜 愛 *
取締役(常勤監査等委員)	井 上 文 夫
取締役(監査等委員)	田 中 等 *
取締役(監査等委員)	三 富 正 博 *
取締役(監査等委員)	太 田 信一郎 *
取締役(監査等委員)	須 江 雅 彦 *

* 社外取締役(独立役員)

株式情報

株式情報(2022年6月末現在)

発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	350,175,139株
総株主数	106,029名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株主メモ



第24期 中間期 株主通信

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日
	配当金支払株主確定日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ (https://www.sumcosi.com/)に掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、日本経済 新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード:3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元(100株)未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定（当社の主観的判断に基づくものを含みます。）に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
植物油インキを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。